

**地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会
第 24 回海域活断層評価手法等検討分科会
議事要旨（案）**

1. 日 時 令和 5 年 10 月 27 日（金） 13 時 30 分 ～ 16 時 45 分

2. 場 所 文部科学省 18 階 研究開発局 会議室 1

3. 議 題

- (1) 日本海南東部（仮称）の海域活断層の長期評価について
- (2) その他

4. 配付資料

（本資料）

海活 24-(1) 第 23 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨（案）

（参考資料）

- 海活 24 参考資料 1 日本海南東部（仮称）の海域活断層の長期評価に関する資料
- 海活 24 参考資料 2 日本海南東部（仮称）における断層トレース案および断層命名案
- 海活 24 参考資料 3 日本海南東部（仮称）の海域活断層の特性表案
- 海活 24 参考資料 4 近畿－北陸沖海域活断層案及び反射断面（岡村主査資料）
- 海活 24 参考資料 5 これまでに審議した評価対象断層の反射断面
- 海活 24 参考資料 6 日本海南東部（仮称）の海域活断層の評価方針
- 海活 24 参考資料 7 日本海南東部（仮称）の海底地形図
- 海活 24 参考資料 8 日本海南東部（仮称）の海底地質図
- 海活 24 参考資料 9 日本海南東部（仮称）のプーゲー異常
- 海活 24 参考資料 10 気象庁一元化震源による震央分布
- 海活 24 参考資料 11 気象庁一元化震源による発震機構解分布
- 海活 24 参考資料 12 F-net によるメカニズム解の分布
- 海活 24 参考資料 13 日本海南東部（仮称）における日本海地震・津波調査 PJ による断層モデル
- 海活 24 参考資料 14 日本海地震・津波調査プロジェクトにおける反射断面図

5. 出席者

- | | | |
|-----|-------------------------|--|
| 主 査 | 岡村 行信 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所
地質調査総合センター活断層・火山研究部門名誉リサーチャー |
| 委 員 | 芦 寿一郎
石山 達也
伊藤 弘志 | 国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
国立大学法人東京大学地震研究所准教授
海上保安庁海洋情報部技術・国際課海洋研究室上席研究官 |

	高橋 成実	国立研究開発法人防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター上席研究員 / 国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震津波予測研究開発センター上席技術研究員
	仲西 理子	国立研究開発法人海洋研究開発機構海域地震火山部門地震発生帯研究センター主任研究員
	森川 信之	国立研究開発法人防災科学技術研究所マルチハザードリスク評価研究部門主任研究員
	山下 幹也	国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター地質情報研究部門資源テクニクス研究グループ主任研究員
事務局	郷家 康徳	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
	重野 伸昭	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官
	佐藤 壮紀※	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究企画官
	細川 周一※	気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長
	松尾 健一※	国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官
	※はオンライン参加	

6. 議事要旨

- (1) 第 23 回海域活断層評価手法等検討分科会議事要旨(案)を承認した。
- (2) 前回審議した評価対象断層における垂直変位量の読み取り結果について、事務局から説明があり、議論し、一部の反射断面における垂直変位量を再度読み取ることとした。
- (3) 海域断層データベースを使用して、これまでに審議した評価対象断層の深部断面を確認し、断層面の傾斜方向や角度について議論した。
- (4) 日本海南東部(仮称)における断層トレース及び断層の特性について検討した。

以上